

発行:青森県教育庁教職員課 (〒030-8540 青森市長島1-1-1)

“業務改善が必要”と分かってはいるけれど、「どのように改善したらいいかわからない」、「やり方を変えたら不満が出るのでは」と悩んでいませんか。今回は、学校全体で業務改善に取り組んだ、青森高等学校の事例を紹介します。

## ～学校における働き方改革の取組事例～



教頭先生に  
聞きました！

青森高校

### “みんな”で考える、うちの学校の働き方改革

一青森高校では、職員でアイディアを出し合い、業務改善に取り組んだと伺いました。どのようにして話し合いを進められたのでしょうか？

県教育委員会が実施した教職員アンケートにあわせて、校長が各学年や分掌に業務改善のアイディアを求めたのが最初です。

提出されたアイディアを教頭が集約し、更に、各学年や分掌で課題の整理や実現可能性の検討を行いました。

最終的に、令和5年度の学校方針として職員会議で全職員と共有し、今年度から取り組んでいます。



一一般に、「多忙の中、業務の見直しをすること自体が負担」という声も聞かれます。そのような不満はありませんでしたか？

特に不満は聞こえてきませんでした。それぞれ思いや言いたいことはあったと思いますが、「働きやすい職場づくり」の必要性を皆が理解し、業務改善を前向きに捉えていた、ということだと考えています。

一青森高校は職員数が約70名と多いです。アイディアに対する、反対意見もあったのでは？

人数が多いほど、全員が納得できる「落としどころ」を見つけることは難しいです。

例えば、部活動の休養日の徹底は、歓迎する先生と抵抗感を示す先生とに分かれました。休養日については必ずしも徹底できていないのが正直なところですが、あくまでも「原則」とし、現時点では厳守までは求めていません。厳守は難しくても、週末は交代で休む、自主練習にする、といった「前向きな工夫」が見られるからです。ある程度、それぞれの事情に任せることによって、ゆっくりと、学校全体が良い方向に進んでいくものと考えています。

#### こんなことに取り組んでいます

##### 1 週休日・祝日の業務に関する取組 (いずれも原則)

- ① 週休日・祝日は学校主催の行事は行わない(※文化祭等の学校行事を除く)
- ② 日・祝日は模試、講習、部活動も含め完全休養日とする(※土日間の交換は可)
- ③ 部活動について、平日1日、週休日1日の休息日の徹底(※公式試合1週間前を除く)

##### 2 時間外勤務の削減に関する取組

- ① 朝自習を任意にした
- ② 勤務開始時刻を10分遅くした
- ③ 朝の打合せを削減した

裏面に続きます



一最初から厳守しようとするのではなく、それぞれができるところから、少しずつ変わろうとする姿勢を認め合うことも大切なんですね。

そうですね。また、取組内容を学校方針として全体に示したことで、業務改善に当たって、全職員共通の判断基準ができました。結果として、業務改善の方針と相反する企画立案への抑止にもつながっているように思います。

一「何をどう改善すればいいのか分からない」、「改善できることが思い浮かばない」という悩みを抱えている方は多いと思います。最後に、このような悩みを抱えていらっしゃる、管理職や先生方に向けて、メッセージをお願いします。

大切なのは、全員が意見を出す機会を設け

ることです。「自分も関わった」という感覚があるかないかで印象が大きく変わってきます。

また、このような状況で生まれた“不完全”なルールを運用する上で、無理に厳守させるのではなく、あくまでも「原則」という形にしておくことも大切です。

「前向きな工夫」が見られていればよしとする。余裕を持ちながら、時間をかけて、良い方向へ進んでいくための第一段階に、本校はあるのだと思います。

皆さんの学校での良いアイデアや実践例がありましたら、ぜひ、教えてください。



## こんな取組が人気です。

### ①朝自習を任意にした

CUT!

朝自習(8:05~8:20)を生徒の任意にした。

「課題を用意して、回収して、添削して、コメントを記入する」という業務が削減され、負担は明らかに減った、とのこと。

検討段階で「学習内容の定着に影響しないか？」というやりとりはあったものの、「労力対効果を考えると、大きな影響はない」、「自学自習の習慣が強化される」という意見により、実施。

朝自習は任意になったが、多くの生徒が8:05までに登校し、自学自習に励んでいる。

### ②勤務開始時刻を遅くした

朝自習をやめたことで、勤務開始時刻を10分遅くした。

10分という僅かな違いではあるが、家庭の事情などから、「夕方10分早く帰る」よりも、「朝10分遅く来る」方が有意義、という職員が多く、働きやすさにつながっている。



### ③打合せを削減した

CUT!

勤務開始時刻を遅くしたことに伴い、金曜日の朝の運営委員による打合せをやめて、グループセッションで補完することにした。

昨年度までは、運営委員の打合せの後に、月~木曜日と同様に各学年や分掌の打合せがあり、スケジュールが非常にタイトだった、とのこと。

長引くとその後の打合せにも響くため、他の教員や生徒にも迷惑がかかっており、解消できたメリットは大きいと好評。